

UZABASE

2Q FY2019

Results



経済情報で、世界を変える

あらゆる経済情報を人とテクノロジーの力で整理・分析・創出することで、人々の生産性を高め、創造性を解放する。私たちは、経済情報で世界中の意思決定を支えるプラットフォームをつくりあげます。

S P E E D A



B2B 向けサービス

企業・業界情報や統計データを
束ねる情報プラットフォーム

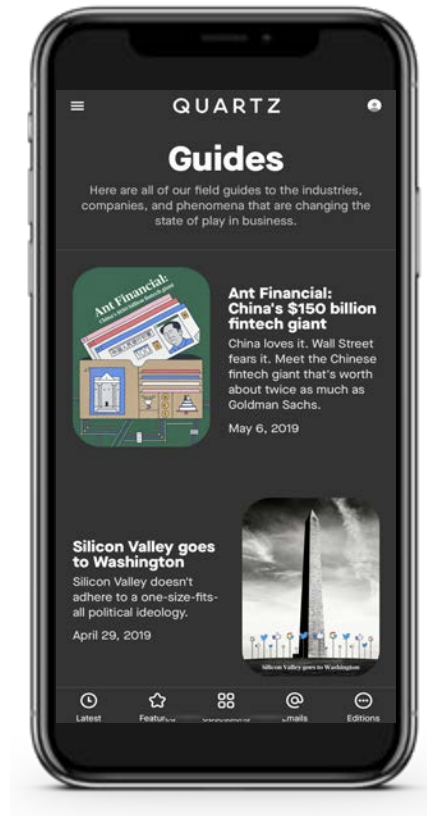
NEWS PICKS



B2C 向けサービス

経済ニュースメディア
(日本市場向け)

QUARTZ



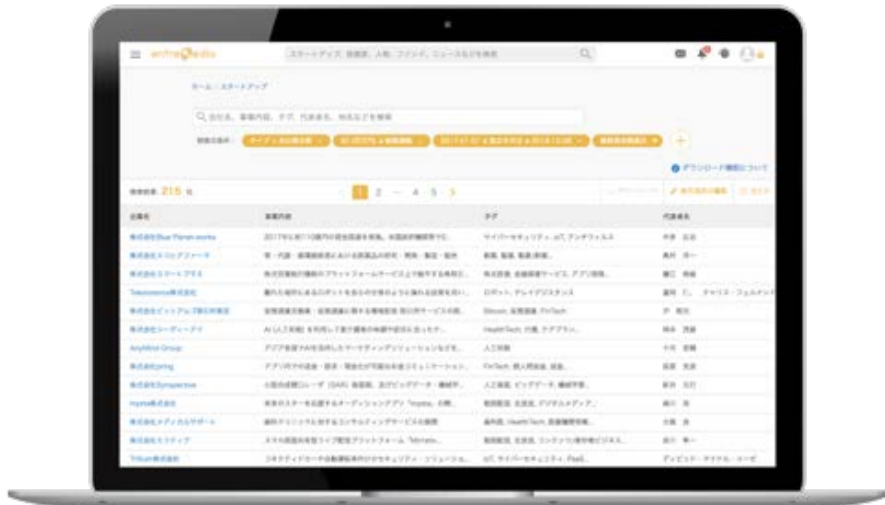
B2C 向けサービス

経済ニュースメディア (米国市場向け)



B2B 向けサービス

B2Bマーケティング
プラットフォーム



B2B 向けサービス

**日本最大級の
スタートアップデータベース**

INDEX

01

連結業績ハイライト

02

SPEEDA事業ハイライト

03

NewsPicks事業ハイライト

04

Quartz事業ハイライト

05

その他事業ハイライト

06

APPENDIX

01

UZABASE 連結業績ハイライト

※ 本資料の業績数値は全て連結会計年度の累計数値です。

S P E E D A

売上高順調に増加、
利益率向上

NEWS PICKS

売上高、利益
共に大幅増加

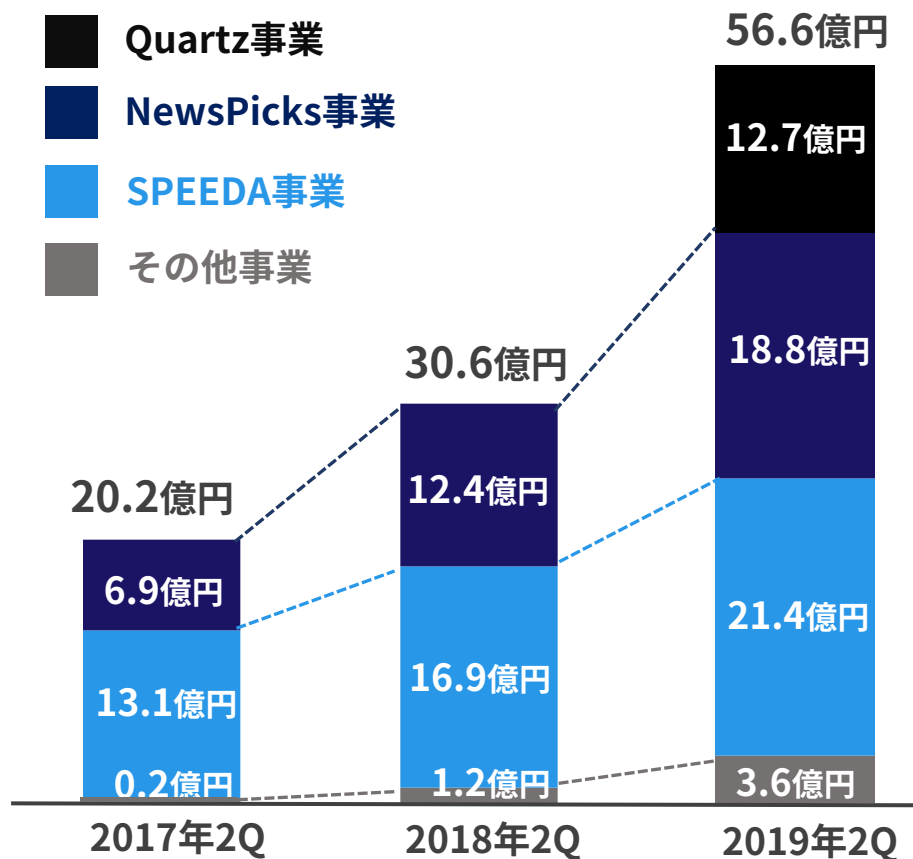
QUARTZ

有料課金事業の
立ち上げに集中

その他事業

売上高大幅増加

高い売上高成長率を達成



前年比

+85%

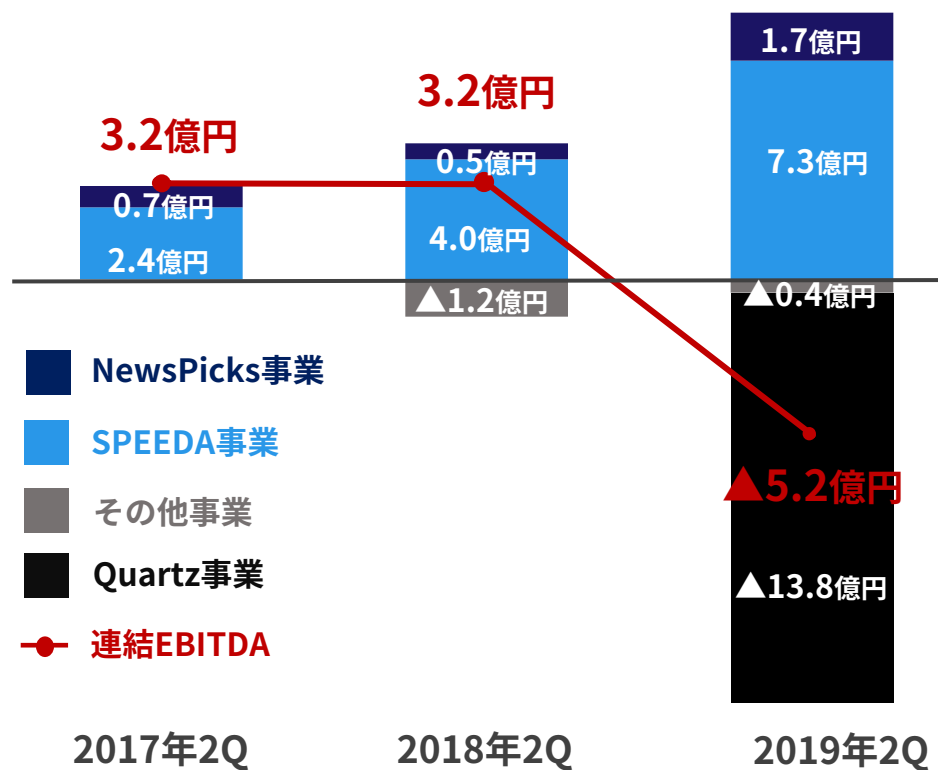
Quartz除く

+43%

※ その他事業は「FORCAS（フォーカス）」「entrepedia（アントレペディア）」の合計です。
 ※ セグメント間の内部売上高を消去しております。
 ※ 金額は切り捨て表記にしております。比率は小数点以下第一位を四捨五入しております。（以下同様）

既存事業のEBITDAは倍増、 Quartzに大きく投資

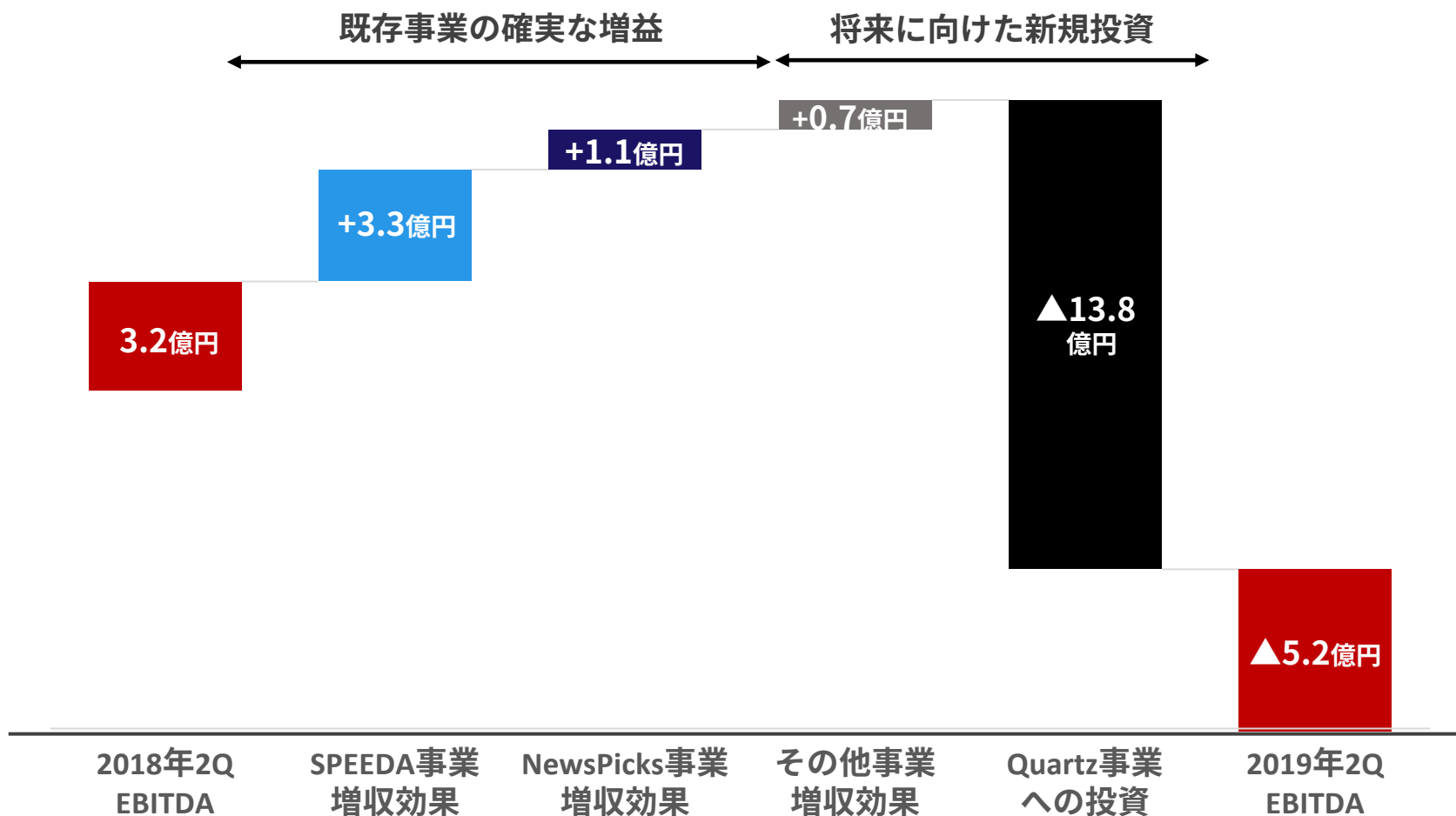
前年比



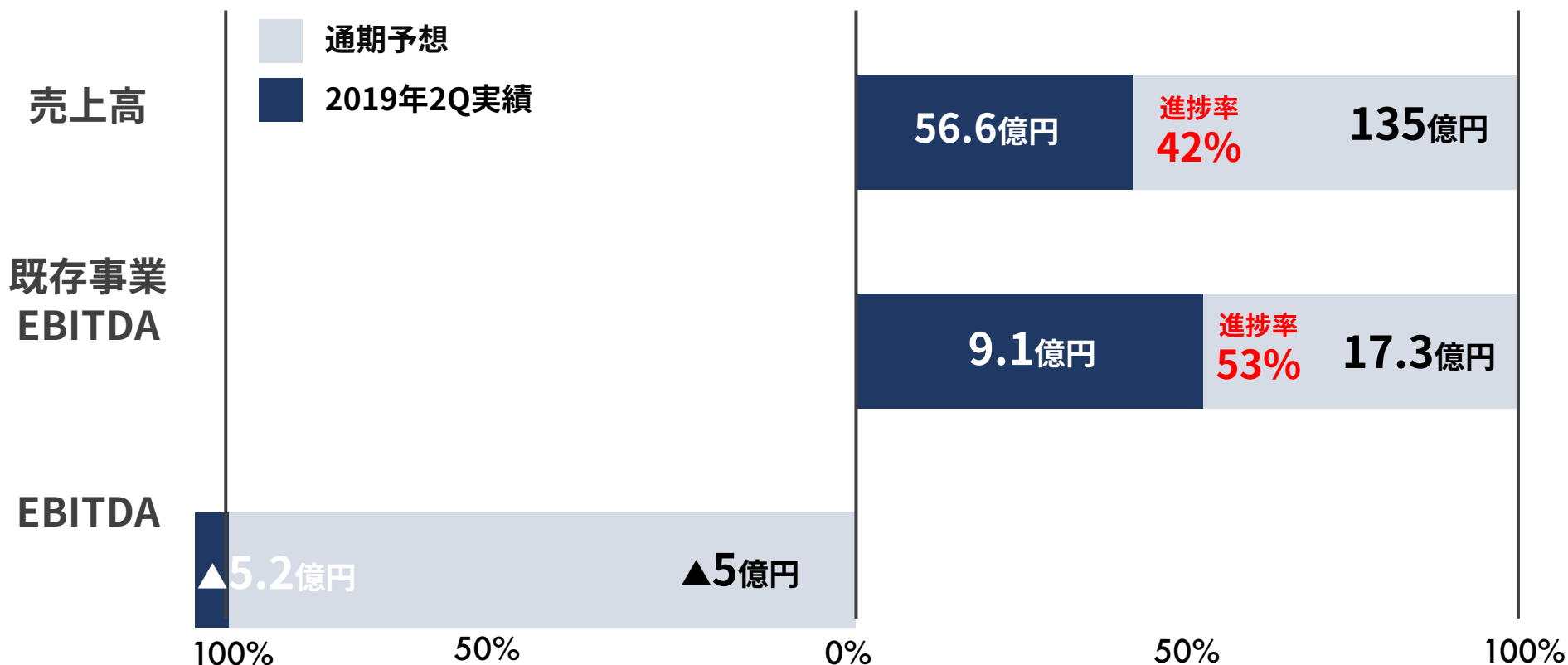
▲8.5億円
既存事業のみ
+97%

※ 既存事業とは、「SPEEDA事業」と「NewsPicks事業」の合計です。
 ※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 (のれん償却費含む) (以下同様)

既存事業で着実に拡大した利益を 米国に規律を持って投資



売上、EBITDA共に計画に対して 例年通りの進捗で推移



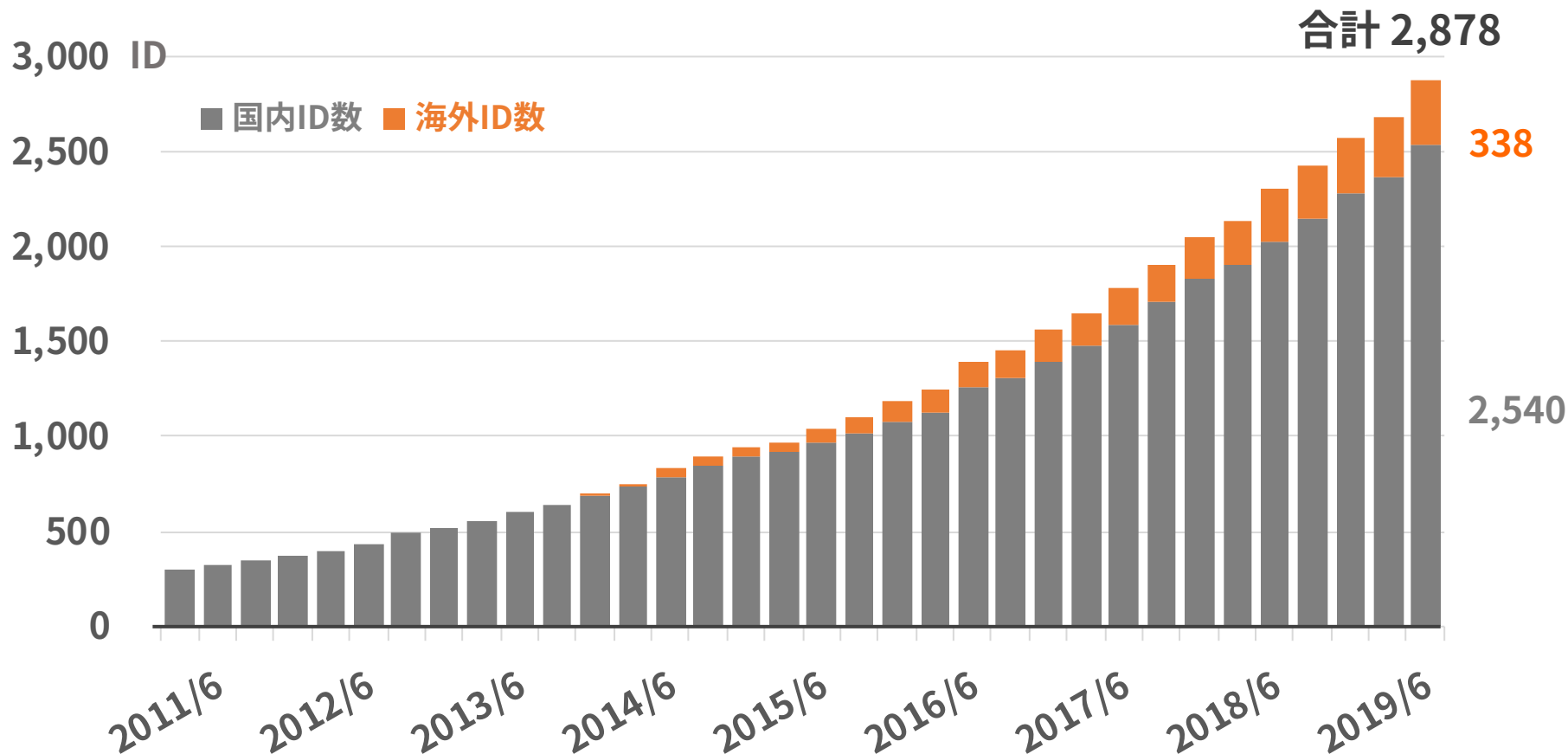
※ 通期予想は2019年2月13日に公表したものです。

02

S P E E D A

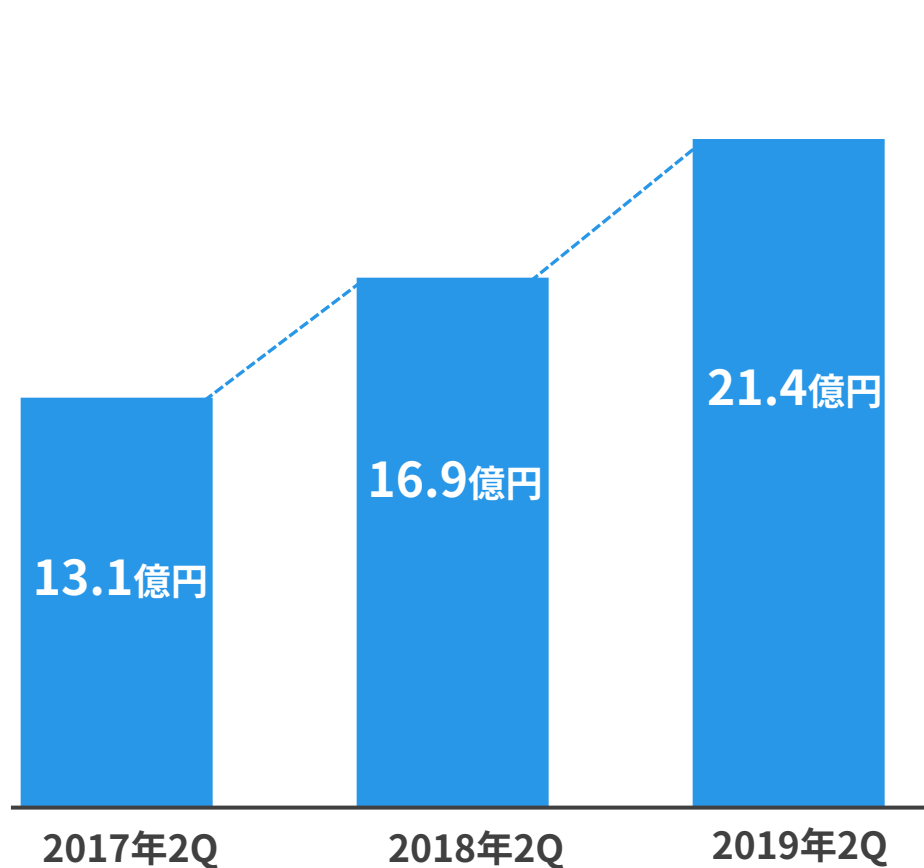
事業ハイライト

四半期のID純増数は過去最高を更新 契約ID数は引き続き、順調に増加



※ ID数はSPEEDAサービス単独のID数であり、「FORCAS（フォーカス）」「entrepedia（アントレペディア）」のID数は含まれておりません。

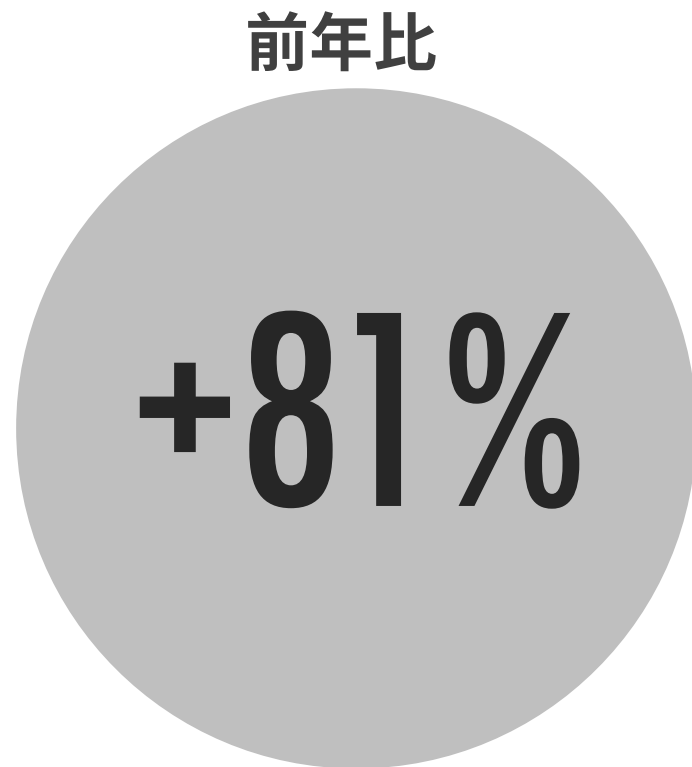
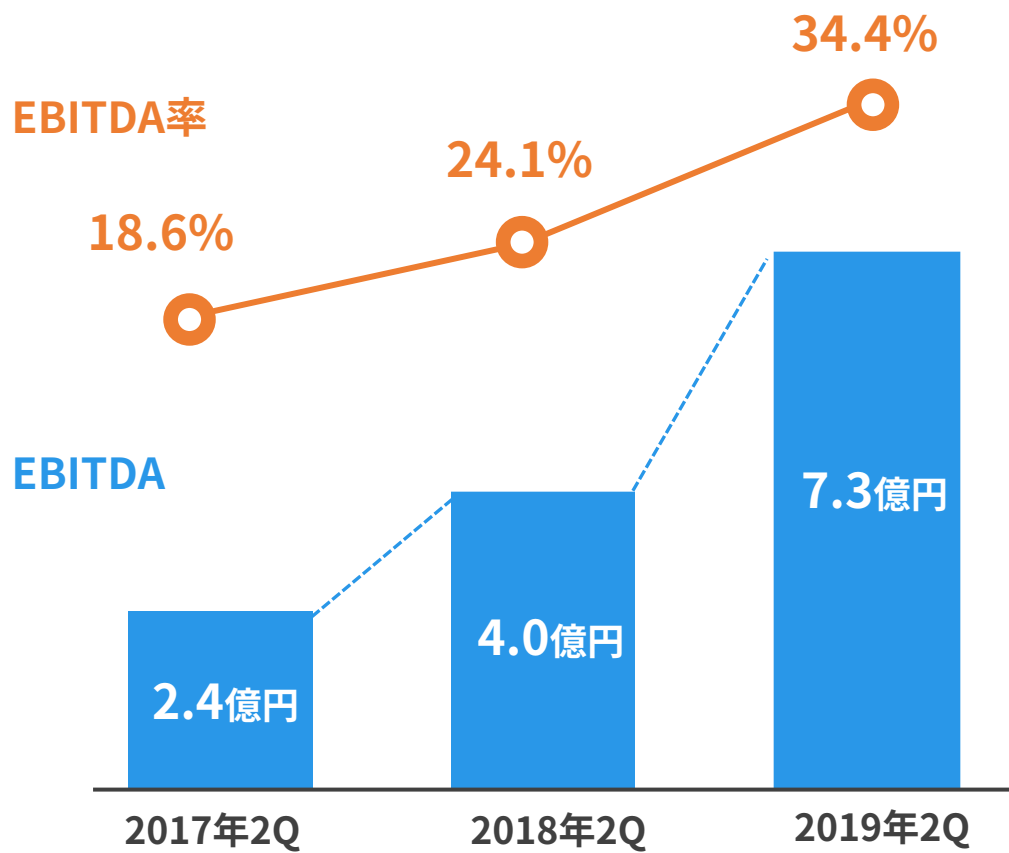
売上高は順調に拡大



前年比

+27%

売上の増加ペース以上にEBITDAは拡大

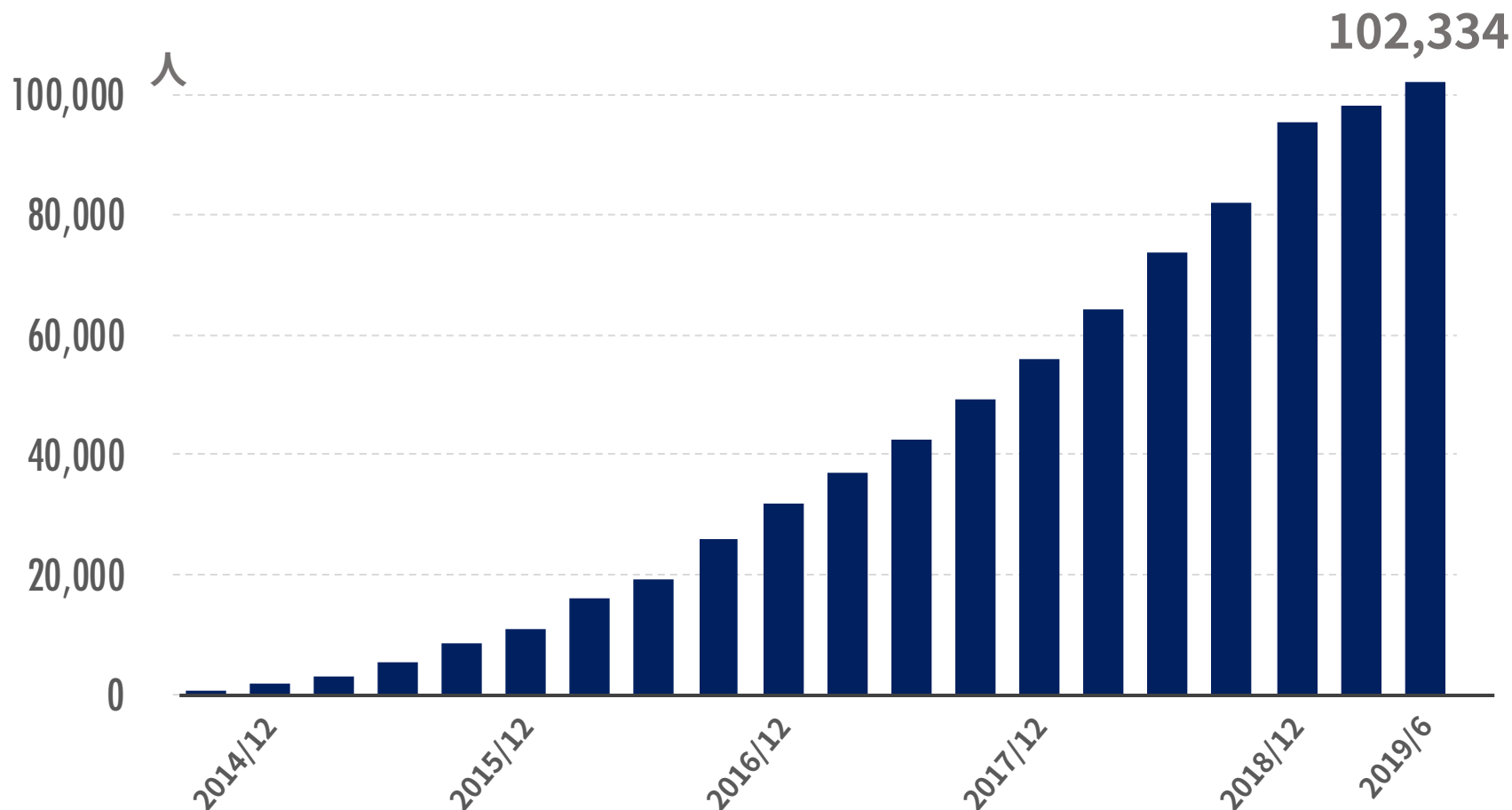


03

NEWS PICKS

事業ハイライト

有料会員数10万人を突破するも、直近2Q成長率は鈍化



※ 有料会員数は、月額1,400円 (iOS) または1,500円 (iOS以外のプラットフォーム) のプレミアム会員数 (月額500円の学割プラン含む) 及び月額5,000円のアカデミア会員数の合計です。

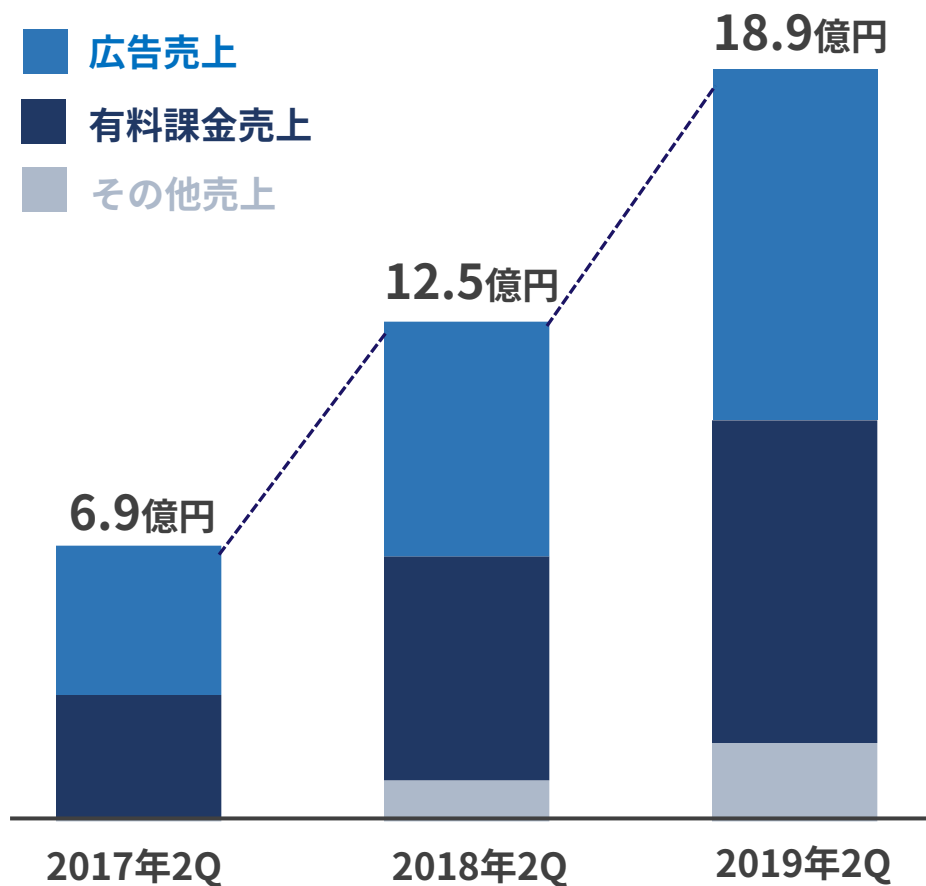
一方で、下記3施策の仕込みを2Qまでに
終えており、3Q以降は成長率の回復を見込む

- ① 編集部を新体制に
池田新編集長の下、特集記事に加え、ニュース記事の
第2報（解説記事）を強化
- ② 動画経済番組の強化
来年にかけて平日の特定時間、経済番組を毎日配信
できる体制を構築
- ③ 法人販売の開始
法人への一括契約を本格開始

法人版の第一弾として約9万人の社員を抱えているリコー様に導入決定



有料課金売上、広告売上共に大幅拡大



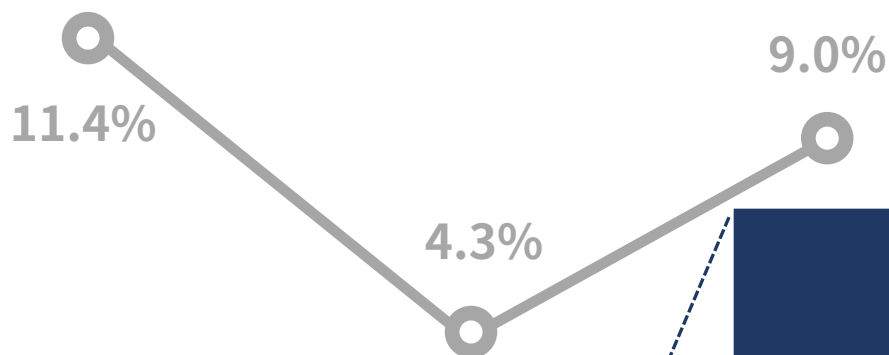
前年比

+51%

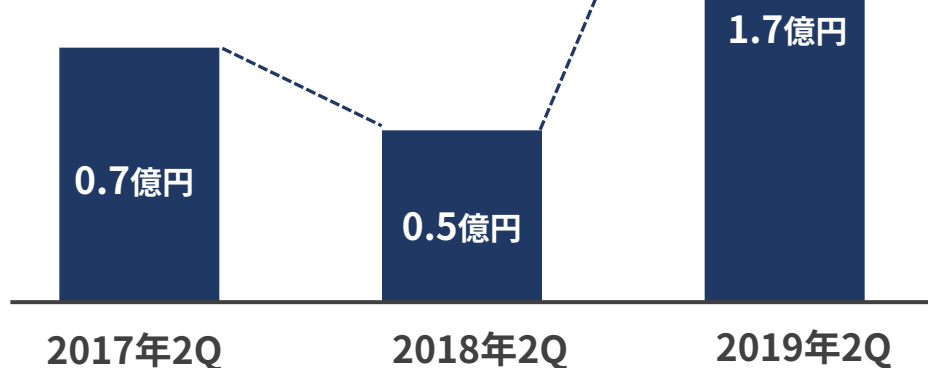
※ その他売上は、主に動画制作及びコンテンツの外部販売等です。
※ セグメント間の内部売上高を含んでおります。

EBITDAは3倍に成長。SPEEDAに次ぐ 収益貢献事業に

EBITDA率



EBITDA



前年比



※ 2018年2QのEBITDAが2017年2Qに比して減益となった理由は2018年6月に大型のプロモーションを行った一時的な影響によるものです。詳細は、2018年12月期第2四半期決算説明資料をご参照ください。

04

QUARTZ

事業ハイライト

今年の戦略
既存事業は収益化、新規事業へ投資を
集中させる

既存事業

広告・
ソリューション



黒字化

新規事業

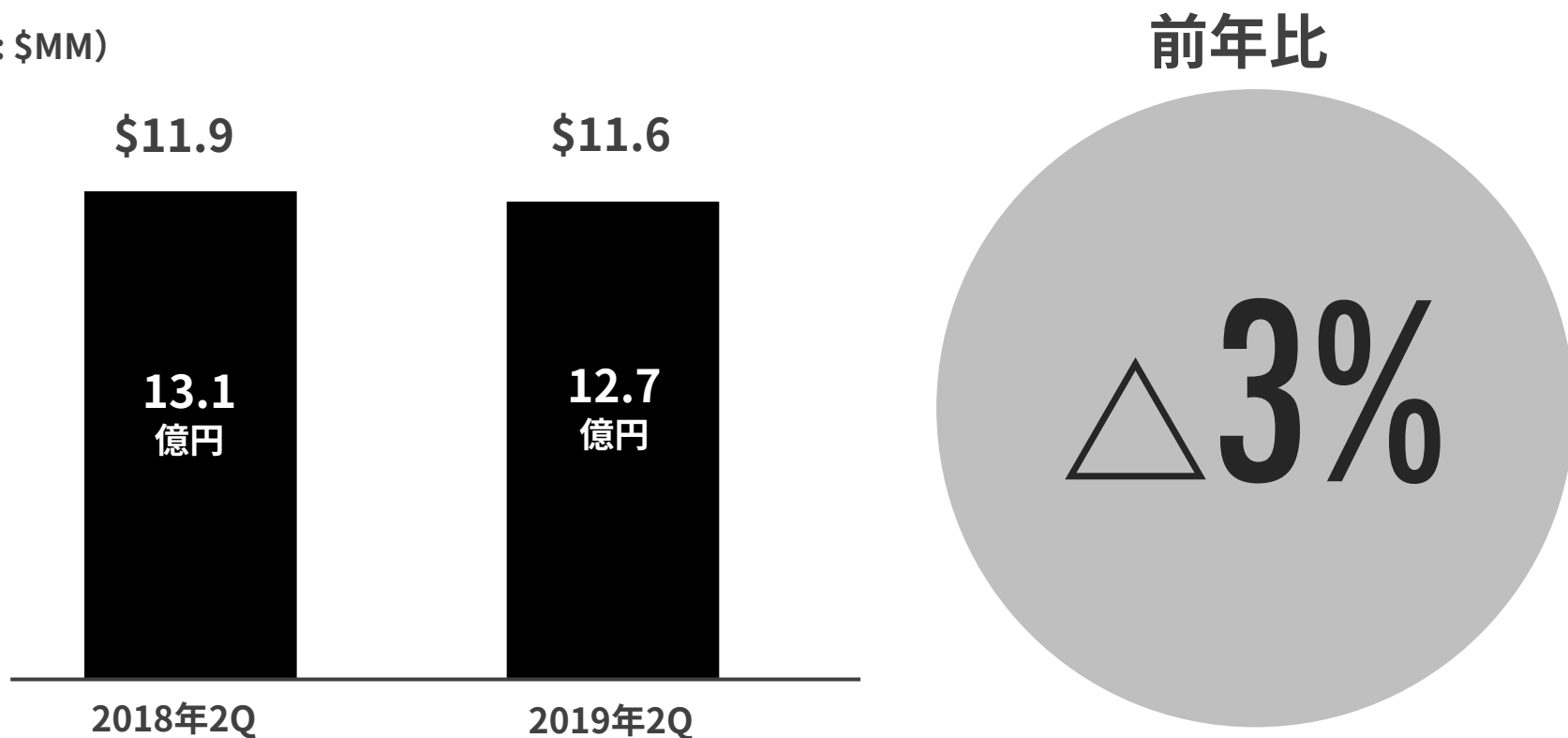
有料課金



投資（赤字）

有料課金シフトのため広告売上は前年比微減

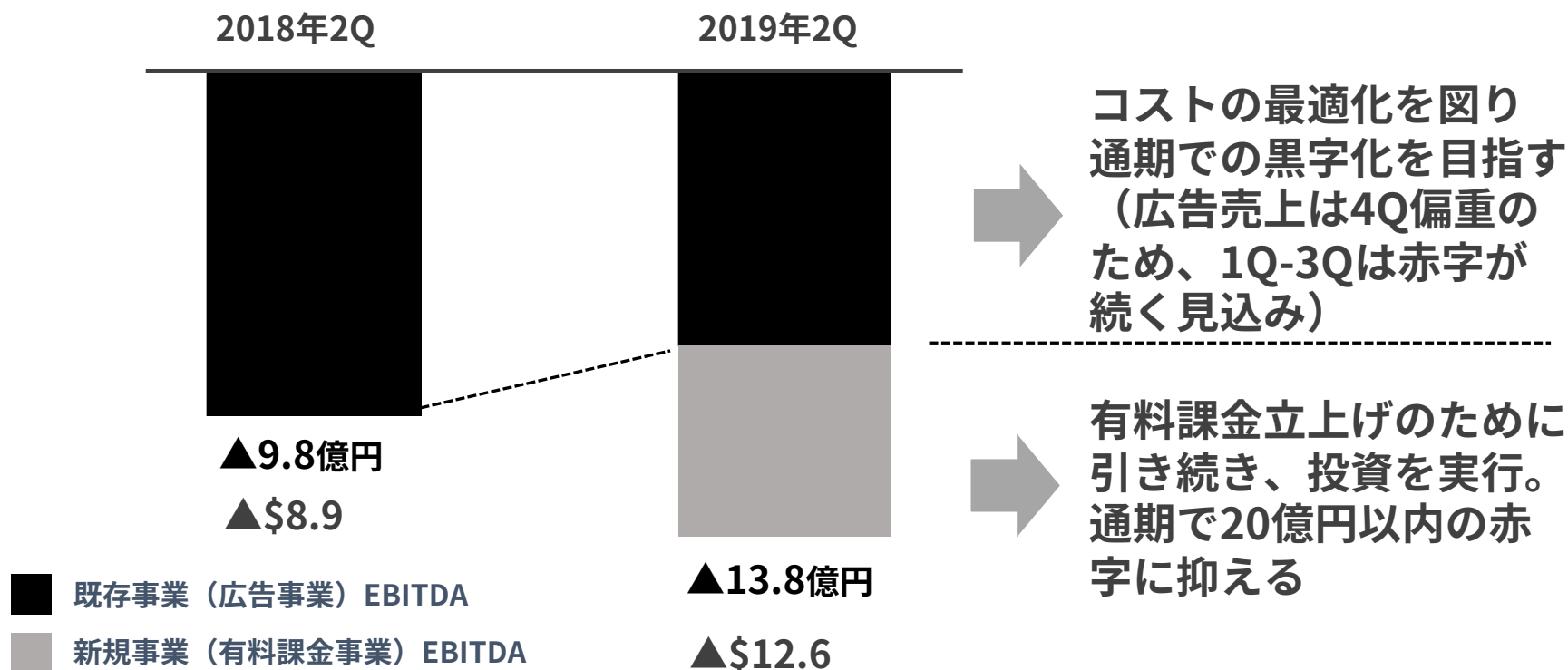
(単位: \$MM)



- ※ 2018年2Qは買収前の業績であり、未監査
- ※ 2018年2Q、2019年2Q共に2019年1-6月の平均レート1\$=110.06円で換算

既存事業のコスト構造を改善すると共に 新規事業への投資を実行

(単位: \$MM)



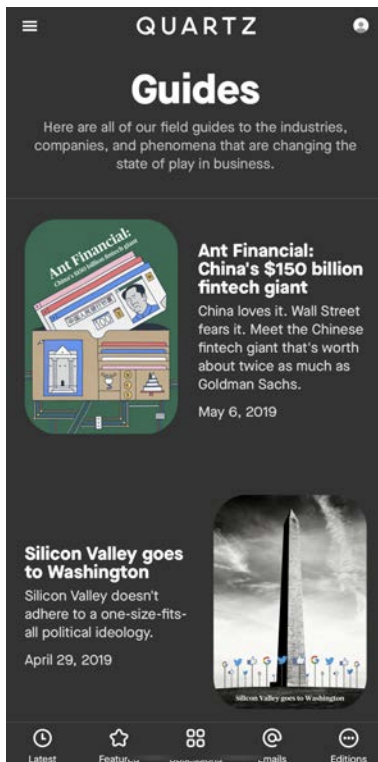
コストの最適化を図り
通期での黒字化を目指す
(広告売上は4Q偏重の
ため、1Q-3Qは赤字が
続く見込み)

有料課金立上げのために
引き続き、投資を実行。
通期で20億円以内の赤
字に抑える

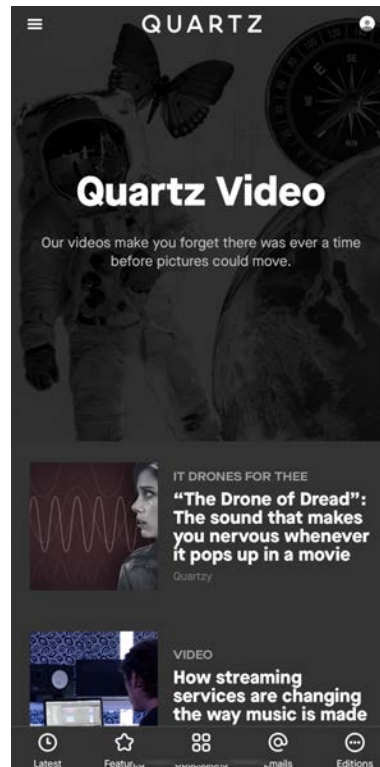
※ 2018年2Qは買収前の業績であり、未監査
 ※ 2018年2Q、2019年2Q共に2019年1-6月の平均レート1\$=110.06円で換算
 ※ 事業構造改革費用などの一時費用は除く

有料課金事業立上げのためコンテンツに投資。 今期末から有料会員数を公表予定

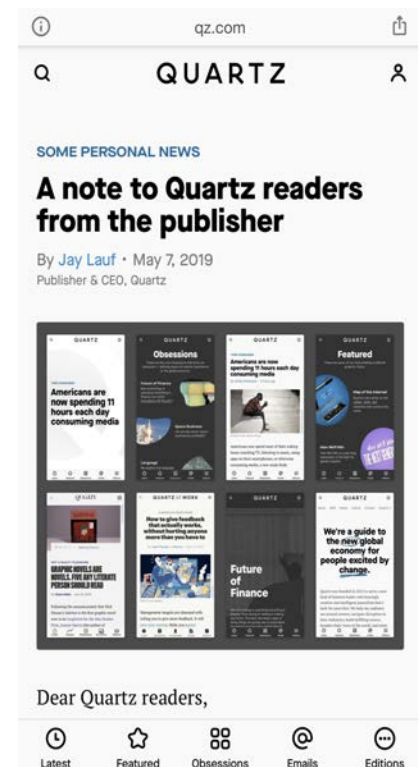
テーマを掘り下げた
特集記事



CEOへのトップ
ビデオインタビュー



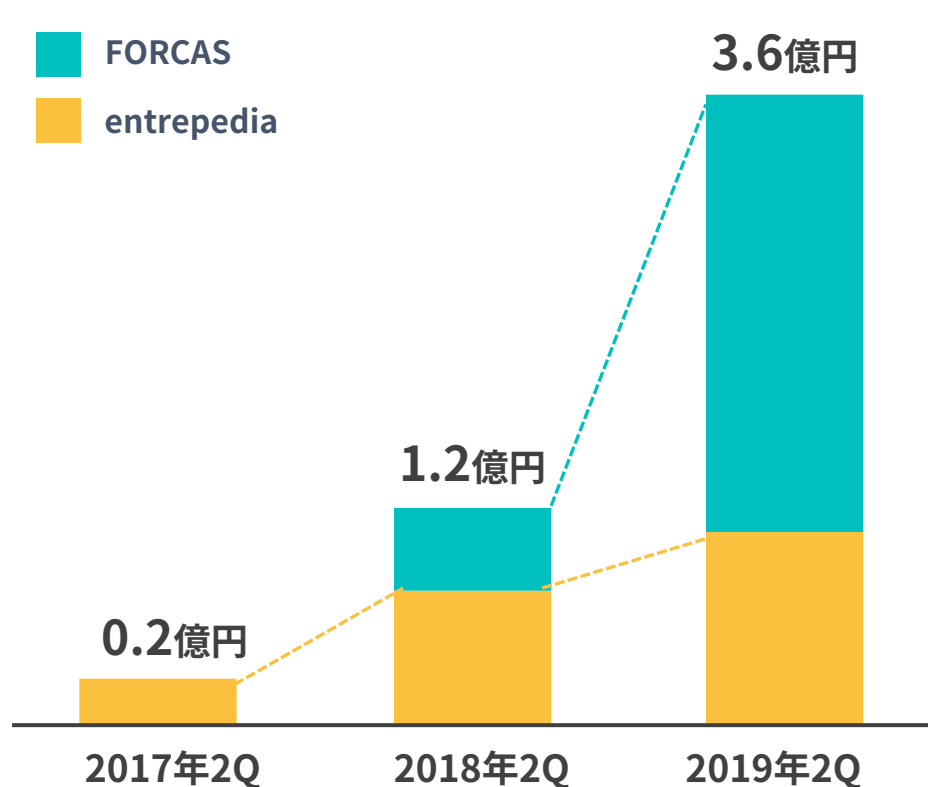
メーターペイウォールを導入し全ての記事を有料課金対象に



05

その他事業ハイライト

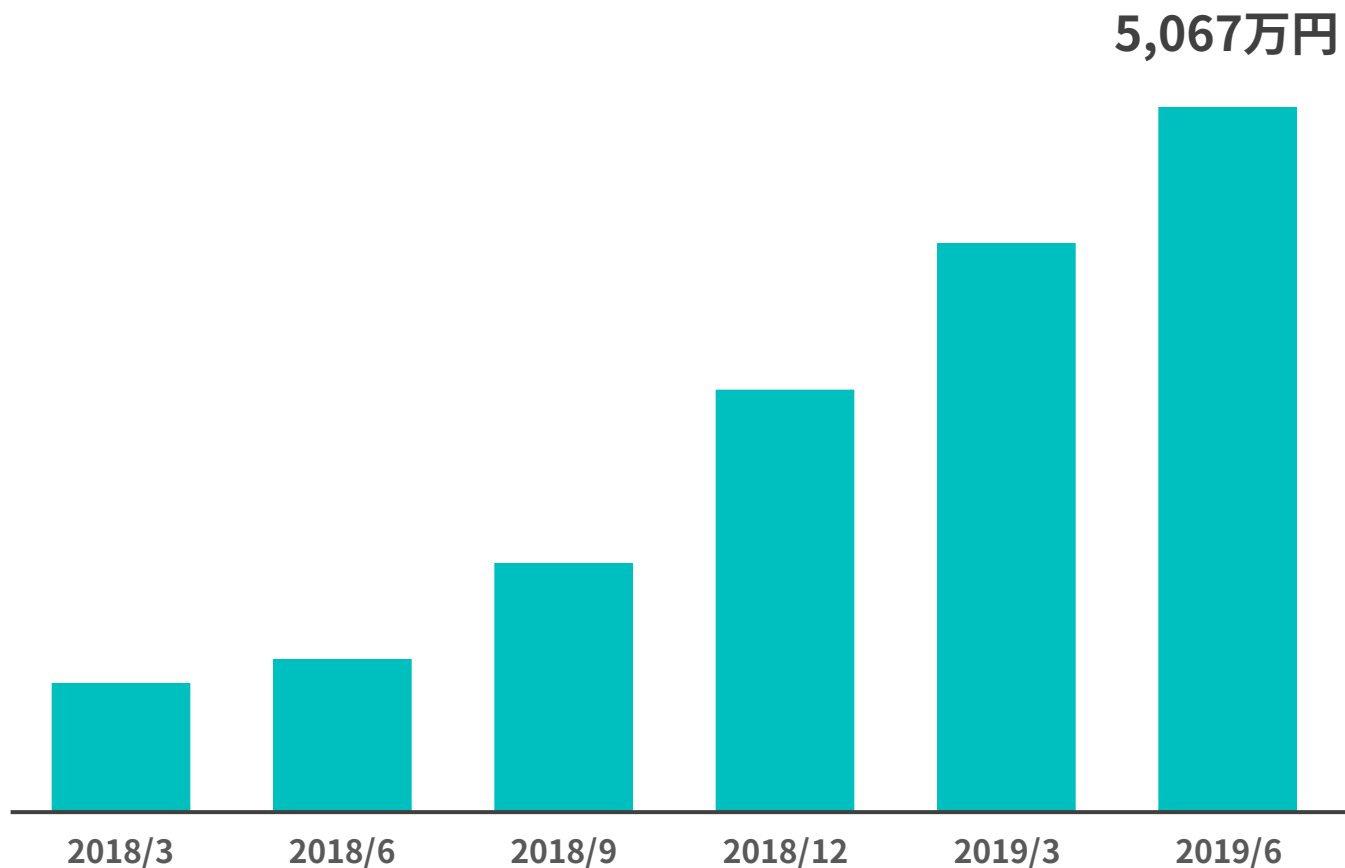
FORCASが売上の大幅な拡大を牽引



前年比

+181%

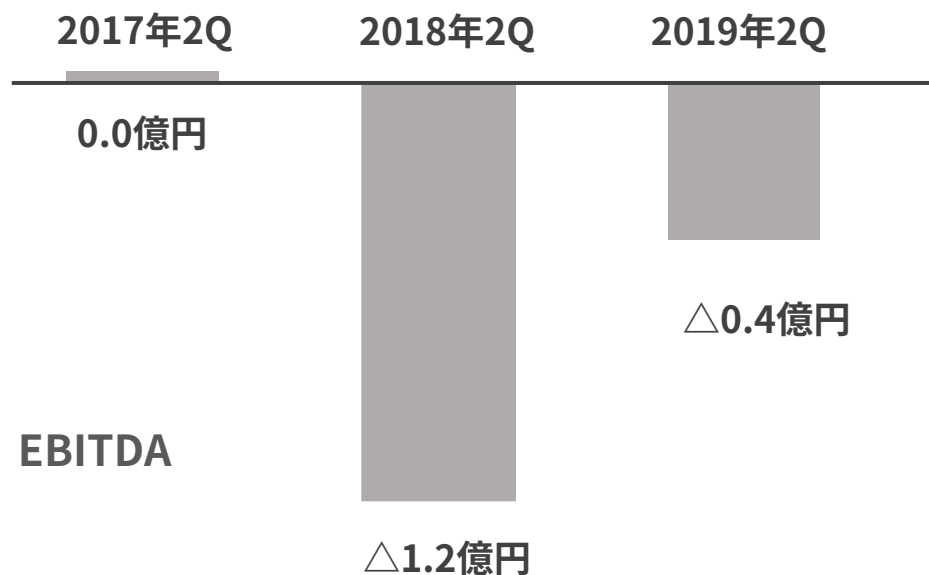
FORCASのMRRが5,000万円を突破



※ MRR (Monthly Recurring Revenue) : 継続課金による月次収益で、初期費用等の一時的な売上は含まない

売上増に伴い、赤字幅は縮小。 更なる拡大に向け成長投資を実行中

前年比



06

UZABASE
APPENDIX

連結PL実績

(単位：百万円)	2017 2Q	2018 2Q	2019 2Q
売上高	2,027	3,068	5,665
売上高成長率	47%	51%	85%
SPEEDA事業	1,313	1,694	2,142
NewsPicks事業	690	1,249	1,885
Quartz事業	—	—	1,276
その他事業	23	124	360
EBITDA	323	324	△528
EBITDA率	16.0%	10.6%	-
営業利益	301	292	△931
営業利益率	14.9%	9.5%	-
経常利益	303	204	△1,007
経常利益率	15.0%	6.7%	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	247	67	△965
親会社株主に帰属する四半期純利益率	12.2%	2.2%	-
SPEEDA 期末ID数	1,780	2,299	2,878
NewsPicks 有料会員数	42,451人	73,570人	102,334人

※セグメント間の内部売上高を消去しております。

セグメント情報 (2019 2Q)

(金額単位：百万円)	SPEEDA 事業	NewsPicks 事業	Quartz 事業	その他 事業	合計	調整額	連結
売上高	2,148	1,894	1,276	361	5,681	△16	5,665
外部顧客への売上高	2,142	1,885	1,276	360	5,665	—	5,665
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6	8	0	0	16	△16	—
セグメント利益	696	157	△1,726	△56	△929	△1	△931
利益率	32.4%	8.3%	—	—	—	—	—
EBITDA	739	171	△1,389	△47	△526	△1	△528
EBITDA率	34.4%	9.0%	—	—	—	—	—
従業員数	193人	144人	218人	56人			

※ ユーザーベースの取締役（社外含む）、コーポレート部門の人員数は含まれておりません。従業員数は社員、契約社員の人数です。

連結BS増減比較

(金額単位：百万円)	2018末	2019 2Q末	増減比較
流動資産	8,592	8,484	△107
現金及び預金	5,725	6,929	+1,203
固定資産	10,211	9,809	△402
資産合計	18,804	18,293	△510
流動負債	3,566	3,738	+172
固定負債	8,920	9,484	+563
負債合計	12,487	13,223	+735
(有利子負債)	9,574	10,225	+650
純資産合計	6,316	5,070	△1,245

※ 「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号 2018年2月16日）等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、前連結会計年度（2018末連結BS）については遡って適用した後の数値となっております。

UZABASE

経済情報で、世界を変える

決算情報の詳細は『第2四半期決算短信』及び『第2四半期報告書』をご確認ください。

免責事項

当資料につきましては、投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。

当資料に記載された情報や将来の見通しは、作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、不確実性を含んでおります。今後、様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

UZABASE

2019年8月13日